

第31回東北ニュービジネス大賞 表彰制度概要・各賞受賞者のご紹介

1. 東北ニュービジネス大賞表彰制度の概要

平成5年にスタートした表彰制度で、今回で31年目を迎えます。

東北地域において新規事業に取り組む企業経営者、社会起業家の方々から広く応募を募り、事業の優秀性等を総合的に評価、優秀者に対して表彰を行なうことにより、ニュービジネス並びにソーシャルビジネスの創出・成長を側面から支援するものです。

<審査委員>

委員長	大滝 精一	大学院大学至善館 理事・副学長・東北大学 名誉教授
委員	蛭名 武雄	(国研)産業技術総合研究所 東北センター所長
	林 由美子	タカラ印刷(株) 取締役相談役
	小林 和昭	東北経済産業局 地域経済部長
	福嶋 路	東北大学大学院 経済学研究科 教授
	岡井 覚一郎	(株)日本政策投資銀行 東北支店長
	針生 英一	ハリウコミュニケーションズ(株) 代表取締役社長
	望月 孝	(株)プロジェクト地域活性 代表取締役社長
	千葉 儀憲	(一社)東北ニュービジネス協議会 専務理事

2. 今回の受賞者 ※受賞内容詳細は別紙「受賞者一覧」の通り

◎東北ニュービジネス大賞

Orbray 株式会社 代表取締役社長 並木 里也子 氏 (東京都/秋田県)

◎東北アントレプレナー大賞 ※2 社

株式会社シエルター 代表取締役社長 木村 仁大 氏 (山形県)
トレ食株式会社 代表取締役 沖村 智 氏 (福島県)

◎ソーシャルアントレプレナー大賞

一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン 代表理事 阿部 勝太 氏 (宮城県)

◎インパクトスタートアップ大賞

Pilz 株式会社 代表取締役 畠山 琢磨 氏 (秋田県)

◎奨励賞 *3社

桑折商事倉庫株式会社 代表取締役 高原 裕典 氏 (福島県)
株式会社東北医工 代表取締役 大関 一陽 氏 (岩手県)
株式会社カイセイ 代表取締役 安藤 貴紀 氏 (山形県)

第31回東北ニュービジネス大賞表彰式 受賞者一覧

当表彰制度は、平成5年にスタートし、今回で31年目を迎えました。

東北地域において新規事業に取り組む企業経営者、社会起業家の方々から広く応募を募り、事業の優秀性等を総合的に評価、優秀者に対して表彰を行うことにより、ニュービジネス並びにソーシャルビジネスの創出・成長を側面から支援します。

◆東北ニュービジネス大賞◆

商品、サービスやその製造方法、提供方法ならびに経営手法など、事業内容において新規性、独自性、革新性があり、東北地域におけるニュービジネスの発展と地域活性化に寄与すると期待される企業・団体に授与されます。

◆東北アントレプレナー大賞・ソーシャルアントレプレナー大賞◆

自ら創業し革新性に富んだ事業を行ない、優れた発想・チャレンジの姿勢・地域活性といった起業家精神に溢れ、東北地域におけるニュービジネスの発展と地域活性化に寄与すると期待される経営者・起業家に授与されます。

◆インパクトスタートアップ大賞◆

社会課題解決と持続可能な成長の両立を目指す社会的起業家を対象に、革新的な取り組みで今後の社会に大きな影響を及ぼすことを期待される起業家に授与されます。

◆奨励賞◆

上記各大賞とは別に、特筆すべき事業展開や、社会的意義の高い取り組みなどが評価された企業・団体・個人に授与されます。

【東北ニュービジネス大賞】

会社名・代表者名		所在地・TEL		URL	
Orbray株式会社		〒123-8511 東京都足立区新田3-8-22		#UNKNOWN!	
代表取締役社長 並木里也子(なみきりやこ)		TEL:03-3909-0101			
設立	1953年8月	従業員数	2,100人(連結)		
資本金	1億円	業種	精密宝石部品などの製造・開発・販売		
“一社如一家”のもと「ダイヤモンド基板」で湯沢から世界へ挑戦！					
事業内容	<p>1967年に現社長の祖父が秋田県湯沢市に工場建設。現在、同市と横手市など国内8工場を展開し、工業用精密宝石部品、光通信部品、小型モーター等を開発・製造・販売する。2026年に湯沢市に本社移転登記、2026～27年に新本社・新工場を同市に建設を予定し、2029年にはIPO・プライム上場を計画中である。</p> <p>業績悪化で2016～20年まで厳しい冬の時代があったものの、現社長・副社長が事業のハード・ソフト面を分担し“両輪”となって大きくV字回復を果たし、以後更なる発展を続けている。ハード面の特長は、世界一大さい「人工ダイヤモンド基板」の生成・加工・量産技術。究極の半導体の大型化に成功し、量子コンピューター、放射線センサー、通信衛星、電気自動車等への用途へ向け、秋田の湯沢を拠点に世界・宇宙へ挑戦している。</p> <p>ソフト面では、創業以来の「一社如一家」をコーポレートバリューとし、社員コミュニケーションやエンゲージメント強化(社員1,000名との個別面談など)の経営改革により業績を大きく改善。生産労働人口減少の対策として若者・女性が地元で働ける環境を創出し更なる地域活性化を目指している。</p> <p>優れたハードとそれを支えるソフトを“両輪”とし、バランスの取れた経営は最高賞の「東北ニュービジネス大賞」に相応しい。</p>			  	

【東北アントレプレナー大賞】

会社名・代表者名		所在地・TEL		URL	
株式会社 シェルター		〒990-2473 山形県山形市松栄1-5-13		#UNKNOWN!	
代表取締役社長 木村 仁大(きむら よしひろ)		TEL:023-647-5000			
設立	1974年12月	従業員数	118人		
資本金	9000万円	業種	製造業、建設業		
最先端の木造技術で新たな可能性に挑戦し、人と環境にやさしい「木造都市」を実現					
事業内容	<p>同社は創業時から最先端の木造技術を開発、建築の新たな可能性に挑戦し、日本で最初に開発した接合金物工法「KES構法」と木質耐火部材「COOL WOOD」をあわせて使うことにより、ギネス世界記録「最大の木造コンサートホール」等、全国に数々の大規模・高層の木造建築を実現した。「都市に森をつくる」活動を普及・推進したことで「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の改正・施行につながっている。</p> <p>加えて、アジア初の最新鋭三次元加工機を設置し、三次元設計・削り出し加工による曲線・ひねりの木質部材「FREE WOOD」を開発し、そのことによりイメージをそのままカタチにしたような、これまでにない建物や家具を創りだした。</p> <p>近年では、同社の技術が採用された山形市南部児童施設「シェルターインクルーシブプレイス コパル」が人気のスポットになっている。</p> <p>これまで「文部科学大臣表彰(科学技術賞技術部門)」等の多数の賞を受賞、「創造・革新・挑戦」を経営方針とし、新しい技術の開発や、誰も行ったことのない物事に挑戦する姿勢は東北アントレプレナー賞に相応しい。</p>			  	

【東北アントレプレナー大賞】

会社名・代表者名		所在地		URL
トレ食 株式会社 代表取締役 沖村 智 (おきむら さとし)		〒975-0014 福島県南相馬市原町区西町3-461-1 TEL:0224-32-0605		#UNKNOWN!
設立	2018年6月	従業員数	23名	
資本金	2億2120万円	業種	製造業	
廃棄農作物の再利用でプラスチック製品を開発！				
事業内容	<p>野菜くず等をプラスチック原料にする「トレ食」は、2018年に福島県南相馬市で創業。大学卒業後、損保会社を経て地元長野県の村職員・村議を経験し、兼業農家として”商品にならない作物の廃棄”を目にしたことで現事業に辿り着いた。</p> <p>植物の細胞壁に存在するセルロースを取り出すには熱や薬品を使うなど大きな負荷と経費がかかるが、抽出する機械の改良を重ね、環境に負荷をかけずにセルロースを取り出すことに成功。試作機で抽出したセルロースをプラスチック樹脂に混ぜ、カトラリー・植木鉢・トレイなどに加工している。</p> <p>既に大手メーカー複数社から事業性を高く評価され、共同研究開発を進め、実用機の建設施工も計画中で、国内外で廃棄される農作物や山林で不要とされる竹などに付加価値を見出し農業復興と産業化を目指す。</p> <p>SDGsを東日本大震災の被災地から発信して「豊かな社会の実現に立ち向かう」という、旺盛なベンチャー精神は「東北アントレプレナー大賞」に相応しい。</p>			  
受賞理由				

【ソーシャルアントレプレナー大賞】

会社名・代表者名		所在地・TEL		URL
一般社団法人 フィッシャーマン・ジャパン 代表理事 阿部 勝太 (あべ しょうた)		〒986-0827 宮城県石巻市千石町8-20 TEL:0225-98-7071		#UNKNOWN!
設立	2014年7月	従業員数	12人	
資本金	-	業種	水産業に関連する小売・人材紹介	
三陸から日本の水産業を『新3K(カッコよくて、稼げて、革新的な)産業に変革する』				
事業内容	<p>東日本大震災をきっかけに、地域の漁業復興と水産業の持続的な発展を目指して設立。震災で甚大な被害を受けた漁業を再生する中で、業界の高齢化や後継者不足、労働環境など構造的な課題に直面。「新3K」というスローガンを掲げ、水産業の新しい働き方や事業モデルの構築に取り組んでいる。</p> <p>「担い手育成事業」ことTRITON PROJECTでは、行政・漁業と連携し、働きたい人のための体験・研修や水産業専門の求人サイトや移住者受け入れのシェアハウスを運営。「水産ビジネス」では、流通構造を見直し、水産物の国内外の販路開拓を支援するほか、ITや最新技術を駆使し、水産業のDX促進を行う。</p> <p>また、アメリカや東南アジアへの輸出支援や仙台空港での直営「ふいっしやーまん亭」なども展開し、販売・PRに取り組んでいる。</p> <p>また、海洋環境の保全にも取り組み、海藻を守り・増やす活動や、科学的根拠に基づいた海洋環境への対応、海の豊かさを守るための新しい投資・寄付の仕組みづくりを行っている。</p> <p>漁業の働き方や経営スタイルの多様化を、環境保全を中心に捉えた持続可能な漁業を目指している活動を高く評価したい。</p>			  
受賞理由				

【インパクトスタートアップ大賞】

会社名・代表者名		所在地・TEL		URL
Pilz 株式会社 代表取締役 畠山 琢磨 (はたけやま たくま)		〒019-0508 秋田県横手市十文字町十五野新田字明神東58-2 TEL:0182-24-1622		#UNKNOWN!
設立	2019年9月	従業員数	23人	
資本金	100万円	業種	農業	
目線を変えて、価値を作る 持続可能な社会を作りたい				
事業内容	<p>2011年に父の後を継ぎ、農業組合法人アグリピースに就農、椎茸栽培を開始。後に福祉事業との連携を見据えることになる農業×昆虫をコンセプトにした「Pilz」を2019年に設立した。</p> <p>椎茸栽培の課題は「使い古した菌床の行方」と「新しい菌床の確保」だった。廃菌床にはカブトムシの幼虫が住み着くことから、椎茸栽培事業と並行して昆虫事業にも着手し、現在では自社で排出される廃菌床を100%自社製造のエサに再加工し、椎茸栽培のゴミ問題解決とエサ製造によるコストカットを実現している。</p> <p>カブトムシ・クワガタムシを約40種類1万頭規模で飼育し、日本から文化として「昆虫を愛でる」を熟成発信。そして昆虫のフンを培養土として利用し500種類5000鉢以上の多肉植物も管理する。</p> <p>また2024年8月に農業と福祉の課題解決のため就労支援B型事業所Re:Walksを開所し、施設利用者をパートナーと呼び、同じ目線での就労支援を行っている。</p> <p>「農業×昆虫×福祉」で新たな付加価値を生み出し、持続可能な社会を目指す姿勢は高く評価したい。</p>			  
受賞理由				

【奨励賞】

会社名・代表者名 桑折商事倉庫 株式会社 代表取締役 高原 裕典 (たかはら ひろのり)		所在地・TEL 〒960-2101 福島県福島市さくら1-2-10 TEL:024-594-2555		URL #UNKNOWN!
設立	1950年4月	従業員数	27人	https://www.koorisyouji.co.jp
資本金	1億円	業種	総合物流業	
事業内容	<p align="center">福島発の“ワンストップ輸出サービス”で東北を支える！</p> <p>同社は、全世界へ展開する契約代理店のスタッフとリアルタイムで通信し、窓口ひとつで東北・福島から世界各国への様々な貨物を届けている。それを可能としているのは「保税蔵置場」という外国貨物の取り扱いと税関への輸出入の申告を行える(税関長から特殊な許可を得た)倉庫や荷役施設を有しているからである。 通常、東北地域の輸出入は東京港、横浜港、成田空港を拠点として輸出入の手続き申告を行う。これを内陸部の東北・福島において行うことにより、外国貨物の輸送費等に関する消費税が免税となるなど、様々なメリットを荷主が享受できる仕組みを実現しており、その取り組みは高い評価につながっている。 今後も、地域オンリーワンの「内陸型国際物流企業」として、東北地域の小規模事業者等の輸出入機会拡大をサポートするなど、国際物流“特化型サービス”の更なる展開を期待したい。</p>			  

【奨励賞】

会社名・代表者名 株式会社 東北医工 代表取締役 大関 一陽 (おおせき かずあき)		所在地・TEL 〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2-4-23 ヘルステック・イノベーション・ハブ101 TEL:019-635-1188		URL #UNKNOWN!
設立	2022年5月	従業員数	5人	https://tohoku-ms.com/
資本金	2300万円	業種	医療用機械器具製造業	
事業内容	<p align="center">「片麻痺リハビリロボット」で人と医療の架け橋になる！</p> <p>2022年に社長を務めていた会社の関連会社として、医療機器の開発・製造・販売を目的に設立し、「テクノロジーで人と医療の架け橋になる」を掲げ、関連会社を含め『片麻痺リハビリロボット』を11年かけて開発した。 現在、医療品医療機器総合機構(PMDA)の承認申請中で、承認申請後には医療機関向けに販売する。 日本の脳卒中患者数110万人に対し、リハビリに携わる作業療養士は10万人といわれている。脳卒中中等による片麻痺症状のリハビリロボットは、世界を見回しても下肢(足と脚)向けは多いものの上肢向け(手と腕)は少ないことに着眼、手指に麻痺が残る片麻痺患者が機能回復訓練ができるリハビリテーションロボットを開発するに至った。 原理は、健常手を動かして麻痺側の脳神経回路を補完する新たな回路の生成を促すもの。これにより、療法士の負担軽減、患者の治療機会拡大、医療機関の治療効率化への貢献が期待でき、そして何よりも「患者ご本人とご家族のQOL(生活の質)向上に役立つ」もので、今後の国内・世界へのマーケット展開を大いに期待したい。</p>			  

【奨励賞】

会社名・代表者名 株式会社 カイセイ 代表取締役 安藤 貴紀 (あんどう たかのり)		所在地・TEL 〒991-0061 山形県寒河江市中央工業団地158-10 TEL:0237-85-0511		URL #UNKNOWN!
設立	2011年11月	従業員数	93人	https://reply-net.com/kaisei/
資本金	600万円	業種	障がい福祉サービス	
事業内容	<p align="center">スポーツクライミングジムと就労継続支援A型事業所の融合</p> <p>同社は2012年に創業。「みんなでいい会社を作る」という経営理念のもと業務に取り組んでいる。障がい者が選手としても娯楽としても楽しめるスポーツクライミングに着目し、2024年9月から就労継続支援A型事業所「ノバリアクライミングジム」の運営を開始した。 当施設の室内型クライミング施設は国内最大級で、多彩なコース・設備を完備、リードクライミングにも対応する公式大会対応規格となっており、障がい者が集い交流・運動のできる貴重な場所となっている。また、施設で障がい者を雇用することで人手不足を解消し、年中無休の営業が可能となっている。 障がい者のスタッフは、「障がいがあるから出来ないと思わずに、障がいがあっても出来ると思える人になってほしい」という経営理念に添って行動している。 クライミングを通じ、障がい者のみならず家族・地域一人一人の快適な未来につながる活動に大いに期待したい。</p>			  